

海南市の家計簿

(平成25年度決算)



海南市 企画財政課

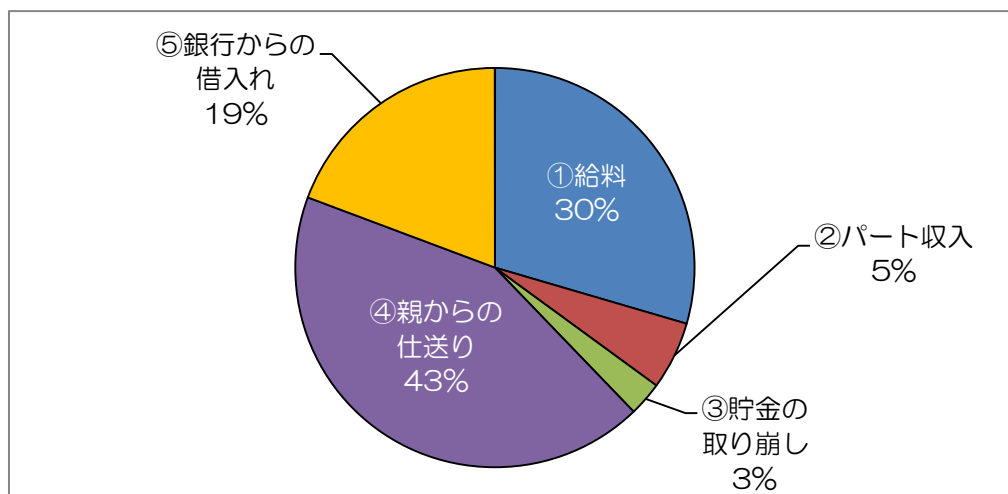
平成25年度の海南市の一般会計の決算は、歳入では254億14万9千円、歳出では247億2,020万4千円となっています。とは言っても、金額が大きすぎてピンとこない方も多いと思います。

そこで、海南市の財政を身近に感じていただくために、平成25年度の一般会計の決算を5,000分の1の家計簿に例えてみました。

1. 入ったお金（収入）

①給料	150 万円	家族で稼いだお金
②パート収入	28 万円	
③貯金の取り崩し	14 万円	
④親からの仕送り	218 万円	
⑤銀行からの借入れ	98 万円	
合計	508 万円	

【入ったお金（収入）の内訳】



一般会計とは、地方公共団体の基本的な経費、重要な経費を計上している会計をいいます。

一方、特定の目的のために設けられた会計は特別会計といい、海南市では7つの特別会計があります。



⇒家計簿に例えたものは？（歳入）

①給料・・・市税

- ・ **市税**：市民の皆さまに納めていただく税金。
（例：市民税、固定資産税など）

②パート収入・・・分担金及び負担金、使用料及び手数料、繰越金など

- ・ **分担金及び負担金**：特定のサービスを受ける人に負担していただくお金。
（例：保育所の保育料など）
- ・ **使用料及び手数料**：市の施設を利用した時などに負担していただくお金。
（例：市民温水プール使用料、市営住宅使用料など）
- ・ **繰越金**：前年度に余ったお金。

③貯金の取り崩し・・・繰入金

- ・ **繰入金**：基金（貯金）を取り崩したお金。

④親からの仕送り・・・国・県支出金、地方交付税、地方譲与税・交付金など

- ・ **国・県支出金**：国や県を通じて市に入ってくる、道路の整備や障害者への支援など使いみちが決められたお金。
- ・ **地方交付税**：どこに住んでいても一定のサービスが受けられるように、国から交付されるお金。
- ・ **地方譲与税・交付金など**：国に納められたお金を一定のルールで地方に配分したお金。
（例：自動車重量譲与税など）

⑤銀行からの借入れ・・・市債

- ・ **市債**：学校や公園、道路など、市民の皆様にご利用いただく公共施設をつくる資金の一部を銀行などから計画的に借入れるお金。

この市債は、国や県の同意のもとで行われるもので、支出に対して収入が不足するために行うものではありません。

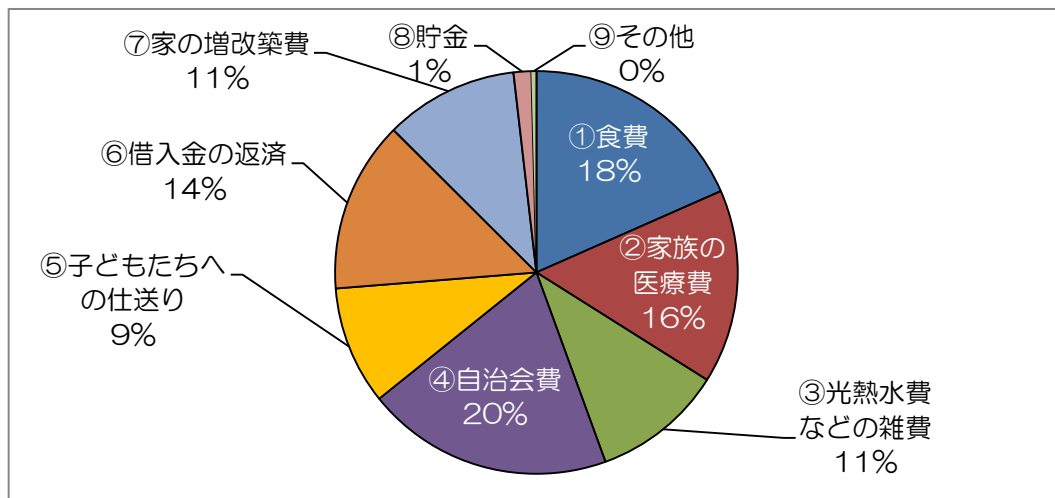
市債を借入れてつくられた公共施設は将来にわたって長期間使われるため、つくる費用を現在の市民と将来の市民が分け合い、世代間の負担が公平になります。

また、市債の中には、国が返済の一部又は全部を肩代わりしてくれるものもあります。

2. 使ったお金（支出）

①食費	91 万円	生活費
②家族の医療費	77 万円	
③光熱水費などの雑費	52 万円	
④自治会費	98 万円	
⑤子どもたちへの仕送り	47 万円	
⑥借入金の返済	68 万円	
⑦家の増改築費	53 万円	
⑧貯金	7 万円	
⑨その他	2 万円	
合計	495 万円	

【使ったお金（支出）の内訳】



入ったお金と使ったお金を見てわかるとおり、「家族で稼いだお金」より「生活費」が多いということになります。

ほかの多くの自治体にも言えることですが、海南市は「親からの仕送り」に頼った生活となっています。

ここ数年は、生活費のうち「家族の医療費」や「子どもたちへの仕送り」が増加傾向にあります。



⇒家計簿に例えたものは？（歳出）

①食費・・・人件費

- ・ **人件費**：職員の給与、議員報酬、審議会委員の報酬などに必要なお金

②家族の医療費・・・扶助費

- ・ **扶助費**：生活に困っている人や障害者、児童、高齢者への支援に必要なお金。
（例：生活保護費、児童手当など）

③光熱水費などの雑費・・・物件費、維持補修費

- ・ **物件費**：市で事務を行うのに必要な経費や、公共施設の光熱水費などの支払いに必要なお金。
（例：予防接種委託料、ごみ収集委託料など）
- ・ **維持補修費**：学校や公園などの公共施設の修繕に必要なお金。

④自治会費・・・補助費等

- ・ **補助費等**：団体などの活動支援に必要なお金。
（例：自治会振興助成金、海南海草環境衛生施設組合負担金など）

⑤子どもたちへの仕送り・・・繰出金

- ・ **繰出金**：法律や基準に基づいて他の会計に支出するお金。
（例：国民健康保険特別会計、介護保険特別会計への繰出金など）

⑥借入金の返済・・・公債費

- ・ **公債費**：市が借入れた市債（銀行などからの借入れ）の返済に必要なお金。

⑦家の増改築費・・・投資的経費

- ・ **投資的経費**：学校や道路、河川、公園などの整備に必要なお金。

⑧貯金・・・積立金

- ・ **積立金**：将来に備え、積み立てるお金。
（例：財政調整基金積立金など）

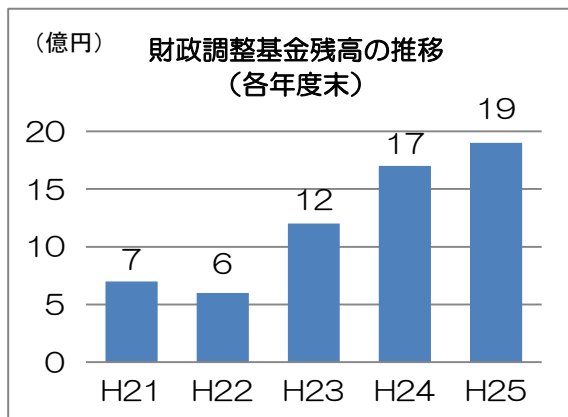
⑨その他・・・投資及び出資金、貸付金

- ・ **投資及び出資金、貸付金**：病院や水道の企業会計などへの出資や、貸付に必要なお金。

3. 海南市の貯金と借入金は？

(1) 貯金はいくらあるの？

自治体が特定の目的のために積み立てた貯金を「基金」といいます。このうち、急にお金が必要になったり、収入が落ち込んだりした時に対応できるように積み立てたお金を「財政調整基金」といいます。



平成25年度は、医療センターの建設が完了したことや「食費」、「家の増改築費」を節約したことなどにより、貯金（財政調整基金）が増えています。

これからも一定額以上の貯金を確保できるよう努めます。



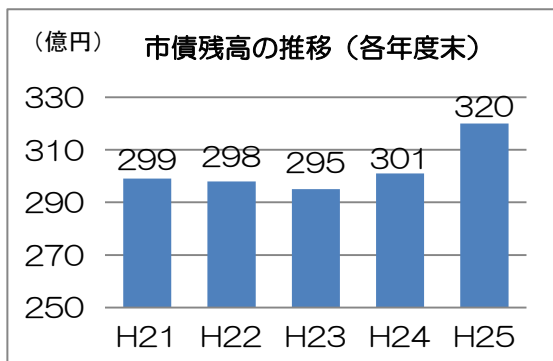
(2) 借入金はいくらあるの？

市民の皆様にご利用いただく学校や公園、道路などをつくるには、一度にたくさんの資金が必要ですが、これを限られた収入から用意するのは大変です。また、施設などを利用する人のうち、これをつくった世代の人だけが負担するのも不公平です。

そこで、家計で何年も使う住宅や自動車を買うためにローンを組むのと同じように、国や県の同意のもとで、市は銀行などから資金を借り入れ、長い間少しずつ返済を続けることにしていますが、この借入金を「市債」といいます。市債を活用すれば、たくさんの資金を一度に用意することができ、利用するどの世代の人にも公平になります。

また、市債の中には、国が返済の一部または全部を肩代わりしてくれるものもあります。

ですから、借入金（市債）は単純にダメとは言えません。しかし、長い間返済を続けることになるわけですから、身の丈に合ったものにとどめておくことが大切です。



平成25年度は、土地開発公社の借入金を肩代わりしたことなどにより、借入金が増えています。

借入金が増えすぎないように、道路などの建設を計画的に進めます。

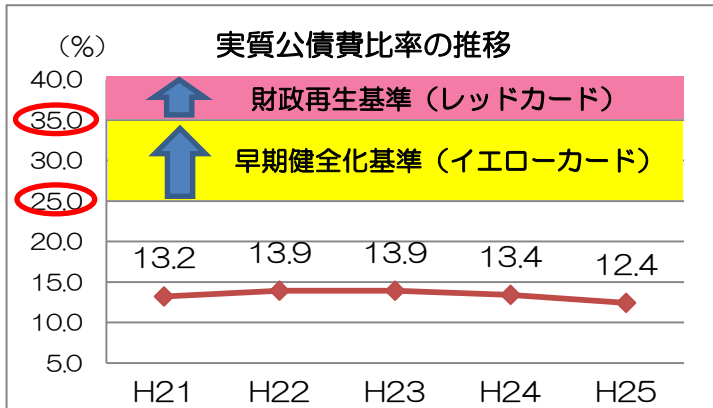


(3) 借入金のしすぎでは？

①実質公債費比率

収入に対する借入金の返済費用の占める割合を表した指標を「実質公債費比率」といい、低いほど良いということになります。

市が借入金をしすぎないように、国の基準で1年間の返済額のイエローカード、レッドカードのラインが決められています。

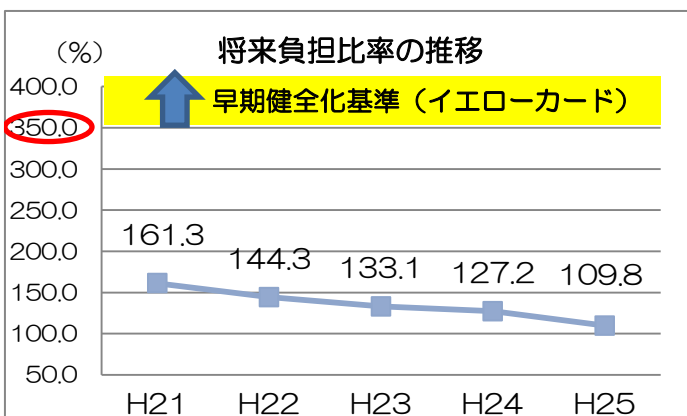


(4) 借入金は返せるの？

②将来負担比率

将来にわたって支払う必要がある経費の総額を、1年間の収入で割ったものです。家計に例えると、ローンの残高が年収の何倍になるかを計算したものとなります。

数値が低いほど良いということになります。



実質公債費比率、将来負担比率ともにイエローカードのラインを下回っています。

今後も行財政改革に取り組み、健全な財政運営に努めてまいります。

